

はじめに

平成15年8月14日に三重県が設置運営するごみ固形化燃料（RDF）の焼却発電施設「三重ごみ固形燃料発電所」のRDF貯蔵槽において火災が発生し、消火作業中に熱風により作業員4名が負傷した。また8月19日には、同施設において、消防隊が消火活動中に爆発が起こり、消防職員2名が殉職、作業員1名が負傷する事故が発生した。

消防庁においては、事故の重大性に鑑み、「ごみ固形化燃料等関係施設の安全対策調査検討会」を設置し、同種施設の実態及び事故発生状況の把握に努め、同種施設の安全対策について調査検討を実施した。

検討期間が短期間であったにもかかわらず、「RDF等関係施設の実態把握と事故事例」、「RDFの性状と発熱・発火機構」、「RDFに係る災害要因」及び「安全対策」について調査・検討を実施し、報告書としてとりまとめることができた。

当該報告書が有効に活用され、RDF等関係施設の安全対策に資することができれば幸いである。

平成15年12月

ごみ固形化燃料等関係施設の安全対策調査検討会
委員長 東京大学大学院教授 田村昌三